

平成25年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 古本 尚樹

	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	10月11日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 主任研究員 ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 客員研究員(同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 (株)日通総合研究所経済研究部 部長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 古本 尚樹 研究員	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学防災教育センター 准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ		災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 中島 直樹 和歌山県公営企業課主任(前福祉保健部福祉保健総務課主任) ・平成23年度台風12号における災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める
13時15分～14時30分	3限 災害対応概論(初動期) 高田 洋介 研究員 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 (済生会千里病院千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害をもたらす自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 リサーチフェロー 京都大学大学院 地球環境学 資源循環学 廊地震災害リスク論分野/工学研究科 都市社会工学専攻 地震ライフライン工学講座(兼務)助教 ・津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ
14時45分～16時00分	4限 災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 上級研究員 (神戸山手大学現代社会学部 教授) マリ エリザベス 主任研究員 ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	災害事例 WS 古本 尚樹 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 災害対応演習(クマ演習) 近藤 伸也 研究主幹 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 リサーチフェロー (大阪読売サービス(株)編集制作本部 企画編集委員)、 川西 勝 リサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成25年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートB

主担当: 研究員 渡邊 敬逸

	10月15日(火)	10月16日(水)	10月17日(木)	10月18日(金)
09時30分～10時45分 1限		災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	標準的な災害対応システム論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部大学院環境人間学研究所准教授 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員・震災資料研究主幹(京都大学防災研究所教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ
11時00分～12時15分 2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 渡邊敬逸 人と防災未来センター研究員	災害と男女共同参画 池田 恵子 静岡大学教育学部教授 ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	
13時15分～14時30分 3限	災害時の健康危機管理 金谷 泰宏 国立保健医療科学院健康危機管理研究部部長 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	災害による交通渋滞について 中川 大 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学研究科 教授/低炭素都市圏政策ユニット長) ・災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造について
14時45分～16時00分 4限	被害認定業務 田中 聡 常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	地方自治体における災害対策専門研修の実践的な活用(14:45-15:30) 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー(長野県危機管理部危機管理防災課担当係長) ・人と防災未来センターの災害対策専門研修を、実際に長野県の施策として実践した事例を紹介することで、受講者が業務に活用するための一助とする	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー(神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・自治体におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する
16時15分～17時30分 5限	災害情報の受発信手法 近藤誠司 人と防災未来センターリサーチフェロー(NHK大阪放送局 報道番組専任ディレクター) ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)および、これらを総合した情報共有の在り方について学ぶ	災害対応各論(NGO/NPO)(15:40-17:30) 森 毅彦 総務省総合通信基盤局電波部 基幹通信課長 明城 徹也 ジャパン・プラットフォーム国内事業部長/東北事務所長 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ		16:00～16:20 全体の振り返り 16:20～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分 —	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成25年度秋期 災害対策専門研修  
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当:主任研究員 阪本 真由美

10月24日(木)	10月25日(金)
9:30～12:00 (センター展示見学:希望者のみ)	(9:30～11:00)90分 「行政対応特論②」 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授(元 岩手県防災危機管理監) 東日本大震災において危機管理監として指揮した経験に基づき、災害時の参謀長の役割と状況判断の思考過程を学ぶ。
(12:20～12:40) 開講式 (12:40～13:00) オリエンテーション 阪本 真由美 人と防災未来センター 主任研究員	(11:15～12:30)75分 「災害対応特論」 室崎 益輝 (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。
(13:15～14:45)90分 「危機対応時の組織論(トップの対応)」 遠藤 勝裕 (独)日本学生支援機構 理事長 (元 日本銀行神戸支店長) 阪神・淡路大震災での日本銀行神戸支店トップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ。	(13:30～16:00)150分 「災害対応検討ワークショップ」 室崎 益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授(元 岩手県防災危機管理監) 阪本真由美 人と防災未来センター 主任研究員 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を演習を通じて深める。 (途中休憩あり)
(15:00～15:45)45分 「目標管理型災害対応論」 阪本 真由美 人と防災未来センター 主任研究員 目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	(16:00～16:10) レポートタイム
(16:00～17:30)90分 「行政対応特論①」 齋藤 富雄 (公財)兵庫県国際交流協会理事長(元 兵庫県防災監) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。	(16:10～17:10)60分 「危機対応組織論」 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。
(17:30～17:45) レポートタイム	(17:10～17:30) 閉講式

※内容や時間帯については変更の可能性があります。